

非SU系/水稲用一発処理除草剤

石原 **コンフォール**[®] 粒剤

3キロ粒剤で
効果安定、
安心の一発処理剤



稲発酵粗飼料用稲(稲WCS)に使用できます。



ノビエ



アゼナ



コナギ



イヌホタルイ

広範囲の雑草に安定した効果
ノビエ、コナギ、アゼナ、ミズハコベ
等の一年生雑草をはじめ、マツバ
イ、ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダ
カ、ミスガヤツリ、ヒルムシロ等の
多年生雑草まで広範な雑草に高い
効果を発揮します。

特 長

長い抑草期間

広範囲の雑草の発生を長期にわたり抑えます。適切な処理では40日間程度の残効が期待できます。

水稲や周辺作物に安全

水稲に対する安全性が高く、温度や土壌条件によって影響されることが少ない薬剤です。また、いぐさやれんこん、せり、くわいなどに対する影響も少なく、これらの周辺田でも安心して使用できます。



●上手な使い方



- 散布のポイント
- 散布量は10アール当たり3～4kgで、田面に均一に散布してください。砂壤土の水田では少なめの薬量を散布してください。
 - 本剤は雑草の発生前から発生始期までの効果が高いので、時期を失しないように早めに使用してください。
 - 頑固なアゼナ類やホタルイ等が問題となる水田では特に早めの時期に散布してください。

●適用雑草と使用方法(抜粋)

平成24年1月31日付の登録内容に基づいています。

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール 当たり使用量	使用方法	総使用回数*	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 および マツバイ ホタルイ ウリカワ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ヒルムシロ	移植直後～ ノビエ2葉期 ただし 移植後30日まで	砂壤土～埴土	3～4kg	湛水散布	本剤 1回 ピラゾキシフェン剤 2回以内 プレチラクロール剤 2回以内	全域(北海道を 除く)の普通期 および 早期栽培地帯

※本剤は、この他「いぐさ」にも適用があります。

*本剤ならびに各有効成分を含む農薬の総使用回数

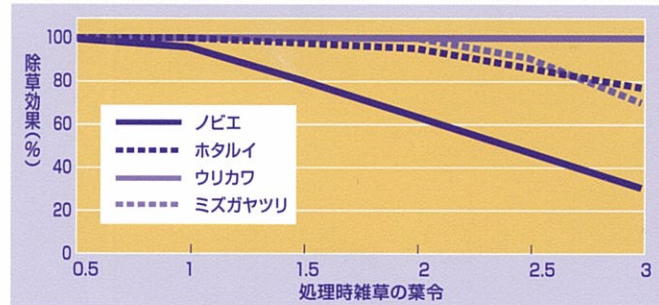
●処理時期と除草効果(目安)

雑草名	一年生雑草					多年生雑草					
	ノビエ	カヤツリグサ	コナギ	アゼナ	その他広葉雑草	マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ	ヒルムシロ
散布時期(目安)											
雑草発生前～始期 (移植後3～4日頃)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ノビエ1葉期程度 (移植後5～7日頃)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎
ノビエ2葉期程度 (移植後9～12日頃)	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎

除草効果 ◎:極大 ○:効果大 △:効果中 ×:効果不十分

●雑草葉令と除草効果

3kg/10a処理での雑草葉令別除草効果 (石原産業(株)中央研究所試験)



ワンオール粒剤は、移植後3日から10日処理で高い効果を発揮します。充分な効果を得るためには移植後3日～7日(ノビエ1.5葉期程度)頃までに使用してください。ワンオール粒剤は、一年生雑草から多年生雑草まで広い雑草に効果を示しますが、散布適期は上図のように草種によって異なる場合があります。

●使用上の注意事項

1. 耕起、代かきはていねいに。

苗の植付けが均一になるように代かきをていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。

2. 下記の様な条件下では使用しないでください。

- ① 砂質土壌の水田、漏水田(減水深2cm/日以上)。
- ② 軟弱苗を移植した水田。
- ③ 極端な浅植えをした水田。

3. 適期防除がポイント。

雑草の発生始期までの処理が高い効果が得られます。また、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず下記の適期に散布するように注意してください。ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ…2葉期まで、ミズガヤツリ…発生始期まで、ヒルムシロ…発生期

4. 散布後の水管理が重要。

散布後4～5日間は湛水状態(水深3～5cm)を保ち、浅水になったり田面が露出しないよう留意してください。また、散布後少なくとも7日間は落水やかけ流しはしないでください。

- 5.** 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。散布後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
- 6.** 本剤の使用にあたっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除等関係機関の指導を受けるようにしてください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

本印刷物は、平成26年6月時点での知見に基づいて作成しています。